

第10回辻堂市民センター・公民館建設検討委員会

議事概要

開催場所： 辻堂市民センター 第4談話室

日 時： 平成28年10月12日（水曜日）

午後1時30分～3時00分

出席

委員

松本喜夫（辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会）

関岡壽夫（辻堂街づくり協議会辻堂づくり部）

野中富央（辻堂地区社会福祉協議会）

松原和憲（建設地近隣町内会代表（県公社辻堂西海岸自治会）

池田 潔（辻堂市民センター長）

林 宏和（市民自治推進課）

塩原彰子（生涯学習総務課）

村田裕治（生涯学習総務課）

守屋文雄（総合市民図書館）

齊藤 康（福祉総務課）

黒澤卓司（高齢者支援課）

米山晶文（消防総務課）

三橋計三（消防総務課）

事務局

柏崎浩通（市民自治推進課）

鈴木優司（辻堂市民センター）

その他

岡 健志（公共建築課）

塩野充彦（公共建築課）

椎谷榎行（公共建築課）

欠席

委員

小川雄二郎（辻堂地区防災評議会会長）

金子節子（辻堂公民館評議委員会委員）

教育総務課

配布資料

1. 次第
2. 2016.10.12 第10回建設検討委員会資料
3. 基本設計に着手するにあたって整理すべき事項について(一覧)

注)(地域委員)は地域代表等委員、(市委員)は市関係課委員、(事務局)は検討委員会事務局、(その他)は公共建築課、設計会社等

1 開会

2 基本設計について

1 基本設計について

(1) 目標について

- ・施設の面積、形状、建物の配置などを決定する。
基本構想の検討を図面で作業したが、形状も面積も決定したい。

(2) スケジュールについて

- ・設計委託業者は国設計。
- ・これからスケジュール調整していく。
- ・12月に辻堂地区全体集会で図面の案を説明したい。
- ・2月下旬に議会に基本設計案の報告をし、資料として提出するのが1月中旬となる。
- ・11月・12月のスケジュールは業者とスケジュール調整をした後にお知らせする。

2 基本設計に着手するにあたって整理すべき事項について(基本コンセプト別)

資料1 基本設計に着手するにあたって整理すべき事項について(一覽)により、諸室の面積等について各課に確認し意見交換。

<津波避難ビルとしての屋上、避難路の対応>

(事務局) スロープで2階までは上がれるが、津波避難ビルとしたいため屋上まで上がれるようにしたい。2階から先の避難路をどのようにするか意見を聞きたい。

(地域委員) 屋上は15mを越えるものがあるとしても良いか。

(その他) 条件によっては高さに含めない場合もある。

(地域委員) 屋上フェンスはどうなるのか。

(その他) 基本的には算入されるが一部条件を満たせば算入にない場合もある。

(事務局) スロープで3階以上までつなぐか。

(地域委員) 階段で上まで行くことでよいのではないか。市民センターは辻堂全体の中で防災に対し、どうあるべきか。引地川付近では避難準備情報も出ている。受け入れ先としてどうするのか明確にしたい。

(地域委員) 太陽光発電などを屋上に設置するのか。

(その他) 太陽光発電に限らず自然エネルギーについては基本構想にもある。
津波避難ビルとしたときの想定人数により必要面積が決まる。

(地域委員) 体育館の屋根を太陽光にできるのか。

(その他) 可能。太陽光は方向が重要となる。

(地域委員) センター部分の屋上は避難施設にしてもよいのでは。

(地域委員) 屋上を避難場所にするかどうかで設計が変わるのか。

(その他) 津波避難ビルは常時人が乗る訳ではないのであまり大きく変わらない想定。

(事務局) スロープではなく階段で屋上に登れる案を設計業者に出してもらおう。

(地域委員) いざ使う時を考えると階段は螺旋階段でないほうがよいのでは。

(地域委員) 中階段にするか外階段にするかで変わってくる。形状と中、外どちらにするか考えた方がよい。

(地域委員) 搬送時、螺旋階段、直線階段どちらがよいのか。

(市委員) 消防の経験では、人が担架の周りを取り囲まなければならないので、救急の事案のときは直線の方がやりやすい。螺旋階段だと階段の踏みしろが扇形になっている。安全性を考えると年配の方もいるので螺旋では危険性が生じるのではないかと。

(地域委員) 学校で屋上に出るような階段がより良いと思う。

(地域委員) 実例として螺旋階段を設置しているところはあるか。

(市委員) 新たにつけているもので螺旋階段はない。踏みしろが扇形だと避難するのに危ないので同じ幅で通れる階段をつけている。

(まとめ)

屋上へ上がる階段は、螺旋階段ではなく直線階段とする。

< 公民館諸室 >

(市委員) 基本的に基本構想の面積が必要である。

(まとめ)

諸室面積は、今後調整が必要。最初の設計図面は基本構想面積で作成する。

< 図書室 >

(市委員) 190 m²程度の面積が必要。本を置いて座って読むスペースも必要。地域交流スペースとの連携という意見もあるので検討していく。

(地域委員) 地域からの要望として、高齢化も進んできた中で、ゆっくり本を読めるようスペースに余裕が欲しいとの声があった。

(地域委員) 交流スペースと図書室を合わせたイメージを持つ方が多い。一緒に連携する考え方はあるのか。

(市委員) お茶を飲みながら本を読むことなどは本が汚れる可能性がある。貸出済の本であれば弁償となるが、借主が不明では、本が汚れた時に困り、死角になると盗難の可能性もある。連携のあり方を考える必要がある。

(地域委員) 昔の図書館のイメージでは静かにという考えがあるが、図書室は柔らかなものを想定しているのか。

(市委員) 子供の利用もあるので静かにしなさいというイメージではない。

(地域委員) お茶を飲めるような所はあるか。

(市委員) 図書館ではお茶を飲めるスペースもあるが、図書室では面積が狭いこともあり、お茶を飲むためのスペースはない。

(地域委員) 市内で見学に行くとなると参考になる図書室はあるか。

(市委員) 新しいという意味では六会、明治などが参考になる。

(まとめ)

面積等について次回以降検討する。

< ホール・地域交流スペース >

(地域委員) 計画地近くに砂山市民の家があるので、新施設にホールを残すか他に振り分けてはどうか。近隣住民からの意見として、砂山市民の家にあるものと同じ様なものを作るのではなく、有効利用できないかという声があった。

(地域委員) お年寄りが集まると静かなスペースではなくなる。図書室との連携にあたっては課題だろう。

(地域委員) 地域要望としては、にぎやかな場所を求めている。図書館ではなく図書室なので、柔らかいイメージでよいのでは。

(地域委員) コーヒーやお茶を提供する場合、業者による運営や、障害者作業所などの団体による運営があるが、市として飲食提供にあたっての方針はあるのか。

(その他) 特に市としての方針はない。衛生上の基準をクリアする必要がある。

(地域委員) 地域交流スペースはロビーと一体と考えられないか。

(市委員) 基本構想図面には線は引いてあるが、壁はなしでも良いと思う。

(まとめ)

面積等について次回以降検討する。

< 包括支援センター >

(市委員) 面積の基準はない。一番小さい遠藤で17.9㎡、一番大きい明治で370㎡、六会で30㎡。できる限り広い面積が必要。

(地域委員) 辻堂地区東西の包括支援センターが一緒になるのか。

(市委員) 西だけである。

(地域委員) 相談室の中が見えないなどの配慮が必要か。

(市委員) プライバシーへの配慮も必要。

(まとめ)

面積等について次回以降検討する。

< ボランティアセンター >

(市委員) 基本構想案は細長い。ここは活動拠点でないが、30㎡に対し机や備品などを入れて活動しやすいことが必要。包括支援センターとボランティアセンターは近いほうが良い。仕組みや体制の検討が必要。

(事務局) 諸室の広さは基本構想をもとに最初の設計を行う。

(まとめ)

部屋の形や位置について次回以降検討する。

<その他>

(地域委員) 砂山市民の家にも調理室などがあるので必要性を検討したほうがよい。地域性を見て併合するものとそうでないものすみわけをして内容を決めないと難しいのではないか。

(その他) 機能を満たす広さについて、関係課の必要面積等をまとめて欲しい。

(まとめ)

次回までに、諸室の機能を満たす必要面積と備品類を整理する。

3 基本設計に着手するにあたっての整理すべき事項について

資料2のとおり説明し、*印については意見交換（基本設計で行う内容を列挙）

- ・基本構想より北側住宅への日影を減らす建物形状
設計業者のアイデアにより、条件の中で基本構想より日影に配慮した形状を検討する。
- ・延床面積の整理（諸室・共有）
基本設計に入るに当たり、個別・共有部分の面積を整理する。
- ・津波避難ビルとしての屋上、避難路への対応を検討する。
基本構想の中では津波避難ビルとしていないが、防災危機管理室から津波避難ビルとする相談あり。屋上までの経路を検討する。
- ・公民館諸室の配置・連携
公民館諸室をどのように配置すれば連携がうまくいくかを検討する。
- ・地域交流スペースと図書室の使い方
説明会等でも様々な意見のあった地域交流スペースの使い方を検討する。
- ・利用率、近隣公共施設を考慮した機能の統合
利用率の低い部屋の機能を統合するなど、合理的な利用を検討する。
- ・地域包括ケアの配置・連携
包括支援センター、福祉窓口、ボランティアセンターの連携を踏まえた配置を検討する。
- ・消防出張所
建物内配置は、主に消防局で検討する。
- ・テニスコート
保護者説明時にひさし、荷物置場の設置要望があり、高浜中学校と調整していく。
- ・駐車場・駐輪場
市民センター建物と東側道路との間への地域団体等利用バス停車スペース設置要望について検討する。
- ・歩道
北側の敷地内への歩行者用通路設置要望について検討する。
- ・その他
敷地への盲導犬用トイレと水のみ場の設置場所等を検討する。
- ・周辺道路

計画地南側の道路の幅が狭いが安全かとの指摘が地域からあった。安全を担保する説明資料を検討する。

・日影

設計に併せて検討し、現況建物、新施設の日影を比較して説明する。

< 地域団体等利用バスの停車スペース >

(地域委員) 年に2～3回なので駐輪場部分に一時的に停めるのはどうか。

(地域委員) 設計上のスペースでなく運用で対応してはどうか。

(事務局) 運用できるようなスペースをとるといふ考え方とする。

(まとめ)

地域団体等利用バスの駐車場は造らず、駐輪場等スペースを活用して運用する。

< 駐輪場の位置 >

(事務局) 市民センター東側出入口に駐輪場を設置した場合、近隣スーパー利用者が無断駐輪する可能性がある。位置の変更や対応策が必要か。

(地域委員) 機械式の駐輪場では経費がかかり現実的ではないのでは。

(地域委員) 近隣スーパーと話し合うしかないのでは。

(まとめ)

位置は変えず枠線のみ引き、無断駐輪がないよう近隣スーパーと調整する。

< 敷地北側に歩行者用通路の設置 >

(地域委員) 近隣スーパーに相談し、敷地北側道路は業者車両が通らないようにすることも可能では。通学時間帯は、車両進入禁止にしてはどうか。

(事務局) スクールゾーンの表示だけなら市の判断でできるが、時間進入禁止などは警察協議と地元の総意が必要。

(地域委員) スクールゾーンの表示をし、だめなら次と段階をおいてはどうか。

(まとめ)

敷地北側に歩道は設置せず、道路運行上の工夫を検討する。

< その他 >

(事務局) 計画地南側道路の相互通行の安全性について、設計業者から課題の提示があれば検討する。基本構想での検討内容を設計業者に伝える。

11月以降は金曜の午後に委員会を開催したい。

次回日程

2016年(平成28年)10月26日(水)午後1時30分